

令和元年度大岡小学校 1年2組 クラスの学びを発信します！

きれいなおはな いっぱいだいさくせん！

「みんなできれいなお花を育てて、学校をお花でいっぱいになりたい！」という願いをもった子どもたち。そのために、「自分の用意した植木鉢や花の種で育てたい！」と、使う道具や育てる花も、自分たちで準備したり決めたりして育てることになりました。

花を育てることが初めての子どもも多く、種を見たときには「こんなに小さいんだ！ここから大きくなるなんてびっくり！」「かわいい～！」など、これからの成長に期待を寄せる姿がとても微笑ましかったです。

種を蒔いて芽が出るのを待つ子どもたちも、今か今かと楽しみに待っており、一人の子どもの芽が出たときは、みんなで喜びました。その後、朝の時間や休み時間にみんなで花を見に行き、「葉っぱを触るとふわふわしてる。気持ちいい！」「おじぎ草を触るとおじぎした！こんにちってはって言っているみたい。」など、変化や成長、花の特徴を実感していました。また、友達の花と自分の花を比べながら「朝顔の葉っぱはハートの形だけど、マリーゴールドはぎざぎざしている。」など、友達と学習しているからこそ、自分の花により詳しくなっている姿も見られました。



そんな中、「芽がせっかく出たのに、葉っぱが虫に食べられている。どうしよう。」と、大事に育てているからこそその困り感や、さらなる願いの高まりも出てきました。

そのことを、おはなしタイムでみんなに相談すると、「ネットみたいなのをかけると、お花を守れるね。」「キャップを中に入れてくぼみに閉じ込めようよ。」など、花の立場になったり、自分事として考えたりしながら、自由な発想でたくさんの世話の工夫を考えていきました。そしてそれらを、『かぶせる作戦』『キャップ作戦』など、『作戦』として自分たちで名付け、作ったり実行したりして世話を続けていきました。

そのような子どもたちの頑張りが実を結び、6、7月には、花が咲き始めました。「ピンクと紫のコスモスが咲いたよ。かわいくてきれい！」「やっと花が咲いたよ。嬉しいな。」など、喜びを感じていました。また、「えいようちゅうちゅう作戦を頑張ったから咲いたんだと思う。育ててよかった。」など、自分が世話を工夫したことや、継続的に世話をしたことが、花の変化や成長に繋がったことに気づき、自信をもつことができたようでした。

子どもたちは、冬に咲く花も育てたいと、新たな願いを膨らませています。冬にはどんな花を咲かせるのか、楽しみです。

